

## 旅行者のさまざまな要望に 応えるために

～登別市・白老町生活関連産業  
事業化推進協議会設立総会～

5月9日(月)、市役所で『地域観光コンシェルジュ事業化共同研究事業』を展開する登別市・白老町生活関連産業事業化推進協議会設立総会が開かれました。

設立総会には、北海道や登別市、白老町と登別市産業クラスター形成協議会、白老観光協会などの関係者合わせて28人が出席。会長には、白老町商工会会長の川田憲秀さんが選出されました。

同協議会は、登別・白老地域で、観光に関する地域資源のネットワーク化を図り、旅行者のさまざまな要望にきめ細かく対応する『観光コンシェルジュセンター』の事業化を目指し、新たな産業の創出に向けた共同研究(平成19年3月までを予定)を行います。

この観光コンシェルジュは、ホテルなどで客の要望に応じて観光の手配や案内などを行う『コンシェルジュ』を参考にしました。

同センターは、今後増加が見込まれる外国人観光客へのサービスの提供も視野に入れ、観光案内サービスや予約代行サービスをIPテレビ電話などを使用して多言語で提供することを計画しています。



事業化に向けた決意を語る川田会長

## 観光客に喜んでもらえるように

～登別市観光ボランティアガイド会  
平成17年度出発式～



5月1日(日)、登別温泉の観光案内役を務める登別市観光ボランティアガイド会(相澤英男会長)の平成17年度出発式が地獄谷展望台で行われました。

同会は、毎年5月から10月まで、地獄谷や大湯沼などの観光ポイントをボランティアで案内しています。

出発式には、25人のメンバーが出席。相澤会長の「明るく元気良くお客さまに喜んでもらえるように頑張りましょう」とのあいさつで、今シーズンの活動をスタートさせました。

期間中は、悪天候の日を除き、10時から15時まで、そろいの緑のはんてんをまとったボランティアガイドが、地獄谷展望台で待機しています。

## 万一の火災に備えて

～消防署・消防団登別温泉分団合同放水訓練～

4月26日(火)、登別温泉町のホテルで春の全道火災予防運動に合わせて消防署と消防団登別温泉分団の合同放水訓練が行われました。

訓練は、消防職員と団員合わせて約40人が参加し、ホテル8階客室から出火、上層階に延焼中で、屋上に逃げ遅れた人がいるとの想定で行われました。

参加者は、消防車やはしご車、救急車で駆けつけ、スムーズにホースをつないで防火水槽などから水を引き、延焼個所に放水。逃げ遅れた人をはしご車で救助し、救急車で最寄りの病院に搬送しました。

大型連休入りを前に、迅速に訓練が行われ、高層宿泊施設での万一の火災に備えました。

